

開館90周年記念 特別展

# 東 アジア 仏教への扉

Approaches to the Study of  
East Asian Buddhism

12月4日(金)〜1月31日(日)  
令和2年(2020) 令和3年(2021)

開館時間 9時〜16時30分(入館は16時まで)  
休館日 毎週月曜日(1月11日を除く)、12月28日〜1月4日、1月12日(火)  
後援 勉誠出版株式会社  
協力 横浜市金沢区役所  
交通 京急線 金沢文庫駅下車 東口より徒歩12分  
(快特で品川より33分、横浜より16分)  
シーサイドライン 海の公園南口駅下車 徒歩10分  
(JR根岸線 新杉田駅接続)

観覧料	個人	団体 (20名以上)
一般	400	300
20歳未満・学生	250	200
65歳以上	200	100
高校生	100	100

※中学生以下、障がい者の方は無料

## 神奈川県立金沢文庫

Kanagawa Prefectural KANAZAWA-BUNKO Museum

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142  
TEL 045-701-9069/FAX 045-788-1060  
<https://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm>

## 講座のご案内

神奈川県立金沢文庫開館90周年を記念した講座を開催いたします。ご応募をお待ちしております。  
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更が生じる場合があります。)

### ■月例講座 金沢文庫で仏教を学ぶー開館90年の歴史のなかでー

称名寺から寄託されている県立金沢文庫の収蔵品のほとんどは、仏教に基づいて作られています。つまり、金沢文庫では仏教を学ぶことができ、仏教を学ぶべし金沢文庫の面白さが、よりわかると言えます。そして、金沢文庫90年の歴史は仏教研究の歴史でもあります。本講座では、金沢文庫が進めてきた仏教研究の変遷から開館90年の歴史を探ります。

日時：12月13日(日)13:30〜15:00

講師：道津綾乃(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)

定員：50名(定員を超えた場合は抽選し、午前(50名)も実施)

受講料：無料(当日の観覧券が必要です)

申込方法：金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お1人様1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、11月29日(日)必着でお申し込みください。

### ■特別講座 二代目文庫長 熊原政男の仕事

熊原政男は、1930年に開館した県立金沢文庫の草創期を担った神奈川県初の司書で、初代金沢文庫長・関靖のもとで研鑽した書誌学者でした。第二次世界大戦後、金沢文庫は存続の危機に陥りました。このとき、40歳の若さで二代目文庫長に就任した熊原は、アイデアを形にする行動力と采配でこの難局を乗りきり、現在の金沢文庫の基礎を作りました。

本講座では、3人の講師が、学者、司書、学芸員というそれぞれの立場から、熊原政男の仕事ぶりを回顧します。

日時：12月19日(土)13:30〜15:30

講師：佐藤博信氏(千葉大学名誉教授)・大塚敏高氏(金沢文庫元司書)・道津綾乃

定員：50名(定員を超えた場合は抽選)

受講料：無料(当日の観覧券が必要です)

申込方法：金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お1人様1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、12月6日(日)必着でお申し込みください。

### ■特別講座 座談会：国宝への道ー聖教調査員、奮闘の日々ー

90周年を迎えた県立金沢文庫は開館以来、保管する全文献資料の目録作成を続けてきましたが、学芸員だけでは果たせず、平成12年より、外部から研究者を招聘した大規模な調査を開始しました。それが、平成18年の重要文化財、平成28年の国宝指定への道のりの出発点です。

ご登壇いただく調査員は、現在も継続中のこの調査に長きにわたって携わり、自身の専門知識を惜しみなくご提供いただいている仏教研究者たちです。調査の裏も表も、酸いも甘いも知り尽くした調査員による座談会、ご期待ください。

日時：12月20日(日)13:30〜15:30

講師：赤塚祐道氏(国際仏教学大学院大学特任研究員)・岡本一平氏(慶應義塾大学非常勤講師)

佐藤もな氏(一般財団法人 東京大学仏教青年会理事)・道津綾乃

定員：50名(定員を超えた場合は抽選)

受講料：無料(当日の観覧券が必要です)

申込方法：金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お1人様1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、12月6日(日)必着でお申し込みください。

### ■連続講座 県立金沢文庫、研鑽の90年

県立金沢文庫の学芸員の使命は、収蔵する文化財を研究し、その価値を見極め、世に知らしめることです。開館以来90年もの間続けられてきた、この研鑽の歴史を、長年当館に勤め、研究者として今も現役の、金沢文庫OBに語り尽くしていただきます。先達の成果を継承しつつ、それぞれの視点で新たな結論を導き出してきた5人の講師が、県立金沢文庫伝統の学問の姿を浮き彫りにします。

①「金沢文庫における仏像研究と展示」 津田徹英氏(青山学院大学教授) 1月9日(土)13:30〜15:30

②「金沢文庫文書の目録作りー初代文庫長関靖先生へもどる仕事ー」 福島金治氏(愛知学院大学教授)

1月10日(日)13:30〜15:30

③「金沢文庫本の数ある運命〜『法曹類林』と『ト筮書』」 西岡芳文氏(上智大学特任教授) 1月17日(日)13:30〜15:30

④「金沢文庫古文書の世界ー北条氏の視点で歴史を語りつづけることー」 永井晋氏(関東学院大学客員教授)

1月23日(土)13:30〜15:30

⑤「第14代文庫長が語る学芸業務回想小話」 高橋秀榮氏(金沢文庫元文庫長) 1月24日(日)13:30〜15:30

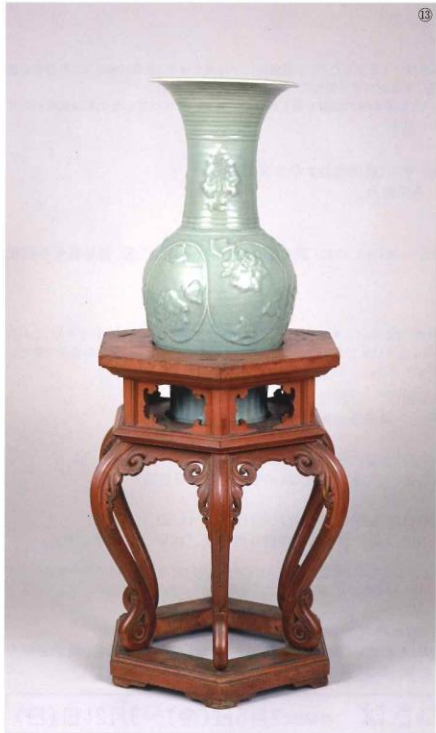
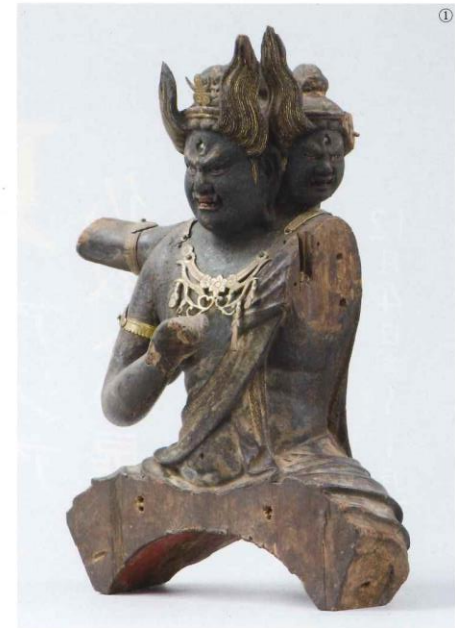
⑥連続講座セット(①〜⑤の全5回分)……こちらをお申し込みの方は、1回に限り本特別展を無料でご覧いただけます。

定員：50名(定員を超えた場合は抽選。ただし、⑥の連続講座セットでお申し込みの方を優先とし、12月18日の締切時点で⑥の申込者が定員に満たなかった場合は、①〜⑤の各回申し込みが有効となります。なお、①〜⑤の各回申し込みを加えて定員を超えた際には、各回申し込み分のみで抽選となります。)

受講料：①〜⑤は各回1,000円、⑥は1月9日の受講時に5,000円(一度納入いただいた受講料は返金いたしません。)

申込方法：金沢文庫HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お1人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、12月18日(金)必着でお申し込みください。なお、⑥は1通でお申し込みいただけます。

【次回予告】 企画展 拓本で知る武州かねさし 令和3年2月5日(金)〜3月21日(日)



寺宝から美術品へ——称名寺から県立金沢文庫へ  
⑧阿彌陀三尊來迎図 ⑨廂摩天曼荼羅圖(神奈川県指定重要文化財)  
⑩仏涅槃圖 ⑪諸尊圖像集(国宝)



中国・龍泉窯から韓国・新安沖を経て日本の称名寺に至る  
⑫青磁香炉 ⑬青磁花瓶および花台

東アジア仏教とは、漢字文化圏で理解され、信仰された仏教のことで、日本はその流伝の終着点です。金沢文庫に隣接する称名寺は、13世紀末以降に東で展開した日本仏教の影響を受けて生み出された文物を伝え、後世において「正倉院に匹敵すると評され、「日東の小敦煌」とたとえられました。  
本展示は、神奈川県立金沢文庫開館90周年を記念して、当館が調査し公開してきた称名寺の名品の数々をおして、東アジアで展開した仏教の様子を一望し、金沢文庫の收藏品が持つ世界に誇れる魅力を紹介します。



東アジア仏教への扉を開く主役たち  
⑭注維摩詰經(重要文化財) ⑮華嚴經問答(国宝) ⑯弘決外典鈔(国宝) ⑰授決円多羅義集唐決(国宝)

多くの展示リクエストにお応えします！  
①運慶作 大威徳明王像(重要文化財) ②阿彌陀三尊像  
③厨子入金銅製愛染明王坐像(重要文化財)